

「地域のことは、地域で」「自分のまちは、自分たちで」

市民が主役のまちづくりで 元気な吹田を実現しよう!!

アメリカ合衆国の第35代大統領、ジョン・F・ケネディは就任演説において、「国が自分のために何が出来るかを問うのではなく、自分が国のために何が出来るかを問うてほしい。」と語り、市民に対し、民主主義の担い手として積極的に政治に関わることを求めました。

これは我々の身近な社会生活、そしてまちづくりにも当てはめることができます。各市町村とも財政状況が悪化するなか、すべてを行政に依存することは難しくなりました。「自助・互助・公助」の言葉のように、助け合い・支え合いの理念の下、自分たちでできることは自分たちで、そして地域住民みんなで協力し役割を果たしていくことが必要です。特に、今後地方分権が進めば進むほど市民の政治参加の重要度は増し、できるだけ多くの地域住民がまちづくりに関わっているかという「地域力」が問われることとなります。

まちづくりに参加することを難しく考える方もいるでしょうが、決してそうではありません。個人の経験や趣味・特技を活用したり、時間や労力を提供したり、様々なかたちで関わることができます。私たち一人ひとりが、吹田のためにできることを必ず持っているのです。防災や防犯、地域福祉、景観、にぎわいなど、多種多様な課

題が山積していますが、互いを尊重し合い、地域力を発揮すれば乗り越えることができます。

たとえば吹田市では「里親道路」という制度があります。路面清掃や花壇の管理、植栽などを自治会や市民団体に委託し実施して頂きます。そうすると業者に発注するよりも経費を削減することができます。平成16年度からスタートし、現在、認定団体は30団体、参加人数は500名を越え、植物愛好家を核に徐々にその輪が広がっています。皆様の熱心な活動によって美しい道路が保たれるとともに、参加者にとっては地域貢献を通じた生活満足度の向上にも繋がっているのです。

市民が主役のまちづくりは、生き活きと暮らす人々を増やし、活力のある地域を創るなど、様々な効果が期待できます。行政とも協働し、地域力を結集させることで、みんなで元気な吹田を実現しましょう!



市民が主役のまちづくりの効果

- ①生きがいづくり、居場所づくり
- ②地域への愛着の増加
- ③行政のスリム化、行政支出の削減
- ④満足度の高い行政サービスの提供

自立と共生のまちづくり!! みんなで創ろう元気な吹田!!

子育て

福祉

地域経済

馬場けいじろう 37才

市民が主役のまちづくりのための具体的な政策については、「馬場けいじろう公式Webサイト」をご覧ください。

▶▶▶ <http://www.baba-keijiro.com>

